

科目名称：	観光学概論	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
初めて「観光学」を学ぶ者にとっての登竜門的授業。観光研究について網羅し、それを生かしてホスピタリティ産業で活躍するには、どのような知識やスキルが必要なのかを学ぶ。		
授業の達成目標・到達目標		
①観光現象を理解するための学問的ツールを知ること。 ②ホスピタリティ産業について理解し、必要な知識、スキルについて知る。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	0	30	70	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
学問への理解	観光現象を研究するためのツールについて、4つ以上の学問理論を理解している	観光現象を研究するためのツールについて、3つ以上の学問理論を理解している	観光現象を研究するためのツールについて、1つ以上の学問理論を理解している	観光現象を研究するためのツールについて、学問理論を理解していない
ホスピタリティ産業への理解	4つ以上の産業について興味を持ち、その業界を理解している	3つ以上の産業について興味を持ち、その業界を理解している	1つ以上の産業について興味を持ち、その業界を理解している	ホスピタリティ産業について興味がない、もしくはその業界を理解していない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 【講義】観光を学ぶということ・観光の歴史	新聞の記事から観光関連記事収集	30分
第2回 【講義】学際的研究な観光「学」	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第3回 【GW】ホスピタリティ産業について知る	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第4回 【プレゼン】ホスピタリティ産業	発表原稿作成	30分
第5回 【講義】観光・経済学	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第6回 【講義】観光・心理学	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第7回 【講義】観光・社会学	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第8回 【講義】観光・人類学	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第9回 【GW】観光と学問について	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第10回 【講義】観光と旅行業	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第11回 【講義】観光と宿泊業	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第12回 【講義】観光と交通業	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第13回 【講義】観光と土産物業	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第14回 【講義】地域観光協会	事前課題についてWebを使って情報収集	30分
第15回 【GW】自分の進路と観光業	事前課題についてWebを使って情報収集	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

事前課題30%、プレゼン30%、グループワーク40%で構成する

課題に対してのフィードバック

提出課題に対してコメント付けて返却

教科書・参考書

授業用の旅にレジュメを準備する